

グローバル9条キャンペーン
私たちは、軍隊を持たないと決めた
日本の憲法第9条を支持します――。

11・3グローバル意見広告には、9条
条文と9条支持のメッセージを共通
の内容として掲載し、さらにイン
ターネットでの9条賛同署名を呼び
かけます。



バンクーバー平和のアピール2006でも9条が取り上げられました。2006.6

GLOBAL ARTICLE 9 CAMPAIGN

憲法第9条

1. 日本国民は、正義と秩序を基調とする国際平和を誠実に希求し、
国権の発動たる戦争と、武力による威嚇又は武力の行使は、
国際紛争を解決する手段としては、永久にこれを放棄する。
2. 前項の目的を達するため、陸海空軍その他の戦力は、
これを保持しない。国の交戦権は、これを認めない。

11月3日に
9条をサポートする
意見広告を
世界で出そう！

11・3 グローバル9条意見広告にあなたもご参加を

❖私たちは今年11月3日に、「軍隊を持たないと決めた日本の憲法9条を支持します」という意見広告を、日本国内と世界各地の新聞に載せようと呼びかけています。このキャンペーンに皆さんもぜひご参加ください。

❖今年11月3日は、日本国憲法が公布されて60年目の日。憲法9条は、ヒロシマ、ナガサキや東京など各地の大空襲を含め、戦争の悲惨さを体験した日本人自身の「平和の誓い」です。また、かつて日本が侵略し、多くの命を奪ったアジアの人びとに対する「二度と過ちを繰り返さない」という誓いでもあります。

❖「戦争を起こさない」「そのために軍隊は持たない」という9条は、国連憲章の平和理念をさらに進めたもので、21世紀の世界で紛争を予防し、平和を創り上げていくうえで欠かせない貴重なものです。

❖ところが、その日本で今、9条が変えられようとしています。9条が変わると、日本は「戦争できる国」になり、「日本の軍隊」が海外で戦争する道が大きく開かれてしまいます。

❖すでにアジアで世界で、多くの人びとが9条を支持してくれています。昨年8・15には、9カ国・地域の11の新聞に、その国の市民による意見広告が載りました。

❖しかし、9条を知らない人もまだまだ多くいます。そこで私たちは、世界中のもっと多くの人に9条を知ってもらい、9条への国際的なサポートを大きくし、非軍事の理念を世界に広げていくために、このキャンペーンを立ち上げました。

意見広告への賛同のお願い

今回の11・3グローバル9条意見広告では、昨年8・15を上回る20の新聞に掲載することをめざしています。それに必要な国内外での掲載費は、総額2000万円が見込まれます。その費用を私たち市民の手で集めたいと思います。ぜひ、ご協力ください。

賛同金 【個人】一口1,000円より 【団体】一口1,000円より

郵便振替口座 00100-1-630313 グローバル9条キャンペーン事務局

※通信欄に「世界同時意見広告」とお書きください。

※今後メールでの通知を希望される方はメールアドレスを追記して下さい。

問い合わせ先 ● ☎03-3363-7561

〒169-0075 東京都新宿区高田馬場3-14-3-2F ビースポート内(担当:松村・吉岡)

FAX: 03-3363-7562 E-mail: article-9@peaceboat.gr.jp URL: <http://www.article-9.org>

呼びかけ人(順不同)

姜尚中(東京大学教授) / 小林カツ代(料理研究家) / 小森陽一(九条の会事務局長) / 佐高信(評論家) / 土井香苗(弁護士) / 高田健(許すな! 憲法改悪・市民連絡会) / 灰谷健次郎(作家) / 松井ケティ(清泉女子大学教授) / 武者小路公秀(反差別国際運動) / 前田哲男(軍事ジャーナリスト) / 吉岡達也(ビースポート) / 新倉修(日本国際法律家協会)

